

事業所名

児童通所支援センター ラブアリス千歳桜木

支援プログラム

作成日

令和

8

年

3

月

20

日

法人（事業所）理念	一人ひとりの発達や障がいを把握し、小さな目標を積み重ねながら最終目標（社会生活・就労）につながる支援を提供致します。									
支援方針	個々に合わせたプログラムのもと、個別や小集団の取り組みを繰り返しながら、生きるための基礎となる人間関係・社会性を育てます。									
営業時間	9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康な心と身体を育て、基本的な生活スキルを獲得できる様『時間』『ルール』『マナー』等を身につけられる支援を行います。								
	運動・感覚	姿勢の保持や運動・動作の改善を図り、感覚の偏りに対する支援を行っていきます。 ハサミや箸、ペットボトルの開閉等により、巧緻性を養います。								
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、情報の収集や行動に繋がられる様にする。 数や大きさ、色などの概念の理解を促す支援や、感覚や認知のこだわりによる偏りや偏食を少なくする支援を行います。								
	言語 コミュニケーション	言葉によるコミュニケーションだけでなく、文字や記号、ジェスチャーなど様々な方法を活用しながら、意思の伝達が行いやすい方法で支援を行い、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたり出来るよう進めて行きます。								
	人間関係 社会性	チームワークが必要な遊び、勝ち負けのある遊び等、遊びを通し他者との関係構築や集団参加に向けた支援を行います。 保護者以外の大人やほかの子供との関りの中で、安定した関係性が作れるよう支援して行きます。								
家族支援	面談を通した相談助言を行う。日々の活動の様子は連絡ノートにて伝え、必要に応じて電話や面談を行い、子供の発達を心配する保護者の思いを受け止め支援して行く。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けての準備をサポートして行く。							
地域支援・地域連携	子供の育ちや家庭生活に関わる関係機関との連携を密にし、日頃から連絡を取り合い情報の共有を図っていく。	職員の質の向上	各種研修や学習会の積極的な参加。地域で支える様々な活動への参加の中で、自分自身のスキルアップに繋げて行く。							
主な行事等	土曜、祝日、長期休暇では普段の日課とは異なる内容を企画し、公共交通機関を利用しての外出を体験したり、買い物学習や調理などの生活全般に関わる学びやSSTによるマナーやルールを習得します。季節に合わせた行事・花育・パステルアート等を通し、心の豊かさも育てて行きます。									